

授業科目名	開講年次	開講学期	講義種類	単位数	担当教員名
幼児理解・教育相談	2	前期	講義	2	中萩 知治
<p><授業の到達目標及びテーマ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児の遊び及び生活の実態に即した幼児理解の意義を理解している。 ・ 幼児理解から発達及び学びを捉える原理を理解している。 ・ 幼児理解を深めるための保育者の基礎的な態度や姿勢を理解している。 ・ 観察及び記録を通して、具体的な幼児の姿とともに理解できる。 ・ 幼児のつまずきを周りの幼児との関係及びその他の背景から理解する。 ・ 受容・傾聴・共感的理解当のカウンセリングの基礎的な姿勢や技法を理解している。 					
<p><授業の概要></p> <p>幼児教育の意義と重要性を理解し、保育実践を結びつけて考察する力を身に付ける。また、幼児の発達や学び及びその過程で生じるつまずき、その要因を把握するための原理や対応の方法について、個と集団の関係や家庭との連携を含めて考える力を身に付ける。</p>					
<p><授業計画></p> <p>第 1 回：「保育の基本と子ども理解」～環境を通しての教育と子ども理解、保育者としての専門性 第 2 回：「子どもの発達する姿を捉える」～個と集団の関係、子どもの発達の特性、発達を促すもの 第 3 回：「子どもの発達する姿を捉える」～一人ひとりにみる発達の姿、子どもの発達と遊びの関係 第 4 回：「子どもを理解するための保育者の姿勢」～子どもを肯定的に、活動の意味を考えてみる 第 5 回：「子どもを理解するための保育者の姿勢」～子どもを長い目でみる、事例を通して考える 「子ども理解のためのカウンセリングマインド」～カウンセリングマインドとは何か 第 6 回：「保育場面でのカウンセリング技法に活用」～カウンセリングとは何か 第 7 回：「子ども理解の方法」～観察を通して理解する、ともに活動しながら理解する 第 8 回：「子ども理解の方法」～記録を通して理解する、保育者間の情報の共有、家庭との連携 第 9 回：「子ども理解に基づく保育者の援助」～遊びと生活の場面の事例を通して考える 第 10 回：「子ども理解に基づく保育者の援助」～クラス全体の場面のから考える、障がいのある子 第 11 回：「子ども理解に基づく保育者の援助」～保育者の学び合い、園内研究、保育カンファレンス 第 12 回：「子ども理解の評価」～幼稚園幼児指導要録の取り扱い、小学校との連携、指導計画の改善 第 13 回：「子育て支援と保育相談」～育児不安の現状と背景、子育て支援、連携の具体的方法 第 14 回：「子育て支援と保育相談」～さまざまな保護者へのかかわり方 第 15 回：「子育て支援と保育相談」～気になる子どもへの援助、まとめ</p> <p>定期試験</p>					
<p><テキスト></p> <p>特になし</p>					
<p><参考書・参考資料等></p> <p>「子ども理解と保育実践～子どもを知る・自分を知る」 塚本美知子 他編著 萌文書林 「子どもの理解と保育・教育相談」小田 豊 他編著 (株)みらい 「幼稚園教育要領解説」(最新版)文部科学省. フレーベル館 「保育所保育指針解説」(最新版)厚生労働省. フレーベル館 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」(最新版)内閣府・文部科学省・厚生労働省. フレーベル館</p>					
<p><学生に対する評価></p> <p>学習への関心・態度(授業態度) 20% 課題解決への取組状況(討議・レポートの内容) 20% 定期試験60%</p>					